

法学部

【どんな学部か】

法学部法律学科の教育理念として、幅広い教養及び法学・政治学的素養を備え、かつ高度に専門化した社会の要請に対応できる人材を育成することを目的としています。また神戸大学法学部の特徴として、全国的に第一線で活躍されている教授による授業や、法学だけではなく、関心に応じて政治学まで幅広く学べること、国公立ならではの少人数教育等が挙げられます。

【4年間の流れ】

1年生	専門科目は法学・政治学の入門から始まりますが、1年生の内は専門科目だけなく、教養科目も学びます。教養科目の語学などの授業は30人程度のクラスですが、専門科目だと学部生全員が広い講義室で授業を受けます。
2年生	共通の授業は一通り終わり、各自が興味・関心に応じて法律科目・政治科目・国際関係科目等を選んで受講します。
3年生	3年生から司法コース、企業・行政コース、政治・国際コースに分かれ、ゼミが始まります。就活組はインターン、公務員組と法科大学院組は勉強に力を入れます。
4年生	神戸大学法学部は卒論を書く必要がないので、就活が終われば平和な日々が待っています。法曹志望者は試験に向けて勉強を頑張りましょう。

【学部の雰囲気】(男女比6:4)

法学部生は根が真面目な人が多く、他の学部と比べると落ち着いていて、大人数のグループというよりも、3、4人程度の少人数で行動する人が多いです。もちろん、賑やかな人も見られます。学生の男女比率は6:4程度で、同じキャンパスの経済・経営学部に比べて女子の割合は高めです。法科大学院に進み法曹を目指す人だけでなく、国際関係を学ぶために大学院へ進学する人や、学部卒で企業への就職を目指す人まで、将来の選択肢がたくさんあります。法学部の専門科目の大半は試験の結果のみで成績がつくので、試験前になると図書館の自習室を利用する人が急増し、図書館の法学部生率も高くなります。

【時間割の例】※太字は専門科目

専門科目	外国語科目	教養科目・その他
------	-------	----------

○法学部(1年生)

	月	火	水	木	金
1	AEC(英語)	法社会学 入門	実定法入門	法社会学 入門	
2	実定法入門	現代政治 入門	AEL(英語)	情報基礎	
3	初年次 セミナー	第二外国語		第二外国語	
4				現代政治 入門	

○法学部(2年生・法律科目重視)

	月	火	水	木	金
1	教養科目	国際経済法	教養科目		
2	教養科目	教養科目	憲法		
3	憲法		刑法Ⅱ	民法Ⅲ	法哲学 B
4	民法Ⅱ	法社会学 概論		憲法	国際法 I
5					
6					刑法Ⅱ

○法学部(2年生・政治科目重視)

	月	火	水	木	金
1	政治 文化論 A			教養科目	比較 政治学 A
2	社会分析 基礎(政治)	教養科目	憲法	政治 文化論 A	
3	憲法			憲法	
4	政治学	比較 政治学 A		政治学	国際関係史

※基本的に専門科目のテストの割合が高いので、前期末後期末が忙しいです。

【授業紹介】

・民法 I (1年生)

1年生後期に開講される基礎的な法律科目です。この科目はセメスター開講であるため、法律の基礎を一から深いところまで学ぶことができます。民法 I の講義内容は、意思表示・法律行為・消費者契約など日常生活にかかわりが深いため、馴染みやすく、とつつきやすい内容で、日常生活の規範を学ぶことができるので興味深い内容となっています。試験では事例に即した問題も多くあり、持ち込みが可能な六法を使って論述形式で解いていきます。法律を学びに来た!という人にはおすすめの授業です。

・法社会学入門(1年生)

この授業では法律自体を学ぶのではなく、法制度がこの社会にどのような影響を与えて いるのかという、法律と社会の関係性について学ぶことができます。弁護士の方や、家庭裁判所の調査官の方が講義してくれることもあります。法律の条文を読むだけではわからない、社会における法制度の現状について知ることができるので、どの業種に進む人にとっても役に立つ授業です。

・特別講義「弁護士によるプロボノ活動」(1年生)

様々な分野で活躍する弁護士の方がきて講義をしていただける、オムニバス形式*の授業です。実際に弁護士をしている方のお話を聞けて、興味深い内容となっています。難しい法律を教科書や授業で学ぶのではなく、実際の事例とともに学ぶことで法律のイメージがつきやすい上、キャリアデザインに役立ちます。

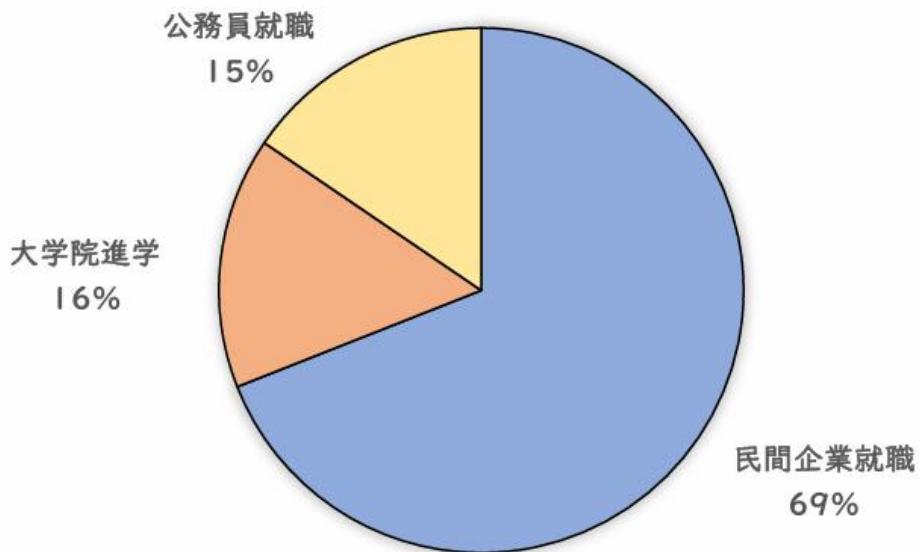
*オムニバス形式…講師の先生が授業ごとに変わる形式のこと。

・日本政治外交史(2年生～4年生)

主に日米の関係に焦点を当てて日本の外交について学びます。授業を聞くだけでなく、5人ほどのグループに分かれてプレゼンをする機会もあります。また、様々なゲストスピーカーの方（海外に長期滞在して経験を積んだ方・国際政治関係の専門家、時にはお坊さんも…）が授業にきて、講義をして頂くことがあるので、様々な視点から日本政治外交史を学べるのも魅力の一つです。

【大学卒業後の進路】

進路(2023年度)



【併願校】

私立→同志社大学(法学部一般)、関西学院大学(法学部一般/共利)、中央大学(法学部一般/共利/共併) etc.

後期→神戸大学(法学部)、大阪公立大学(法学部) etc.

*一般=一般選抜、共=共通テスト利用入試

【アピールポイント】

- ・勉強する環境が整っていて、先生方の実績も充実している。(1年生 Aさん)
- ・良識のある人が多く、落ち着いた雰囲気で過ごしやすい。(2年生 Fさん)
- ・場合によっては、アニメを題材にした法律契約の授業が受けられるかも。(1年生 Rさん)
- ・法曹関係に興味がない人でも、比較的就職に有利。(4年生 Aさん)
- ・法学部の中で国際関係コースがある数少ない大学。(2年生 Kさん)